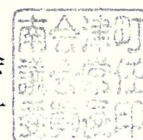




30議委第55号
平成30年11月30日

南会津町議会
議長 五十嵐 司 様

南会津町議会広報委員会
委員長 森 秀一



委員会調査（行政視察）報告書

本委員会所管事務調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

1. 調査事件 議会広報紙の作成に関する調査

2. 調査の経過
- 1) 研修日時 平成 30 年 11 月 16 日 (金) 13:30~15:30
 - 2) 視察先 埼玉県寄居町
 - 3) 参加者 森 秀一委員長・丸山陽子副委員長・貝田美郎委員
渡部訓正委員・室井英雄委員
随員：議会事務局 渡部浩一主査

3. 調査の結果又は概要 (意見)

○ 対応者

岡本安明	寄居町議会議長	峯岸克明	議会広報広聴特別委員長
神田 崇	議会広報広聴特別副委員長	佐藤理美	議会広報広聴特別委員
大澤 博	議会広報広聴特別委員	吉澤康広	議会広報広聴特別委員
朝香敏康	議会事務局長	小林奈穂美	議会事務局書記

○ 町村議会広報コンクール受賞歴

平成 25 年度 (第 28 回)	奨励賞「編集・デザイン部門」	受賞
平成 26 年度 (第 29 回)	入選 優秀賞 (第 7 位)	受賞
平成 28 年度 (第 31 回)	入選 優秀賞 (第 6 位)	受賞
平成 29 年度 (第 32 回)	入選 最優秀賞 (第 1 位)	受賞

○ 寄居町の概要

寄居町は、埼玉県の北西部、荒川が秩父山地から関東平野に流れ出すところに位置しており、西部の山地と東部に開けた平野部からなりたっています。

昭和 30 年に 1 町 4 か村が合併した町ですが、町の総面積は 64.25km²、人口は 33,843 人 (14,387 世帯) であり、平成 30 年度の一般会計当初予算は、116 億 7,860 万円となっています。

1. 広報発行の状況

- ① 名 称 「お元気ですか 寄居議会です」
- ② 創 刊 平成 9 年 5 月 15 日
- ③ 発行回数 定例会後年 4 回
- ④ 発行部数 13,000 部 (町内全戸、県議長会、近隣町村、各課、図書館等)
- ⑤ 発行経費 3,931 千円
- ⑥ 発行時期 定例会の翌々月 1 日発行
- ⑦ 印刷規格 A4 版 表・裏表紙カラー、中身 2 色刷り
3 段組を基本に、ページにより変わる。
- ⑧ ページ数 平均 16 ページ (ページ数は、特集記事や質問通告者により変わる。)

2. 主な掲載事項

- ① 定例会における議会活動に関する事項

議案審議、一般質問、請願、陳情、議会の選挙、その他

② 常任委員会、特別委員会の活動に関する事項

付託提案、閉会中事件調査等

③ その他寄居町議会・議会議員の活動に関すること

議員研修、他議会との交流、視察、互助事業等

3. 議会広報広聴特別委員会の構成

総務経済・文教厚生 の 2 常任委員会から 4 名ずつ選出し 8 名で構成。

4. 議会だよりの特徴

- ・統一テーマを定めた表紙シリーズなど、多くの住民に登場いただいている。
- ・読みやすく、新たな切り口で議会や審議内容を伝える特集企画。
- ・次ページの記事紹介や用語解説（一口メモ）など親しまれる工夫。
- ・議員個人の議案に対する賛否結果の公表。

5. 編集の方針

① 町広報は結果を知らせるもの、議会だよりは討論や質疑を掲載し、審議の経過をお知らせするものと捉えている。

② 読んでいただける議会だよりに、表紙が重要と考え、表紙のテーマを決め、シリーズ化している。

「よりのえがお」で 20 回掲載、現在は「○○○○よりの人」とし、笑顔だけでなく、何かに打ち込んでいる人、頑張っている人をテーマとしている。

表紙写真は、編集委員の持ち寄り作品から選んでいる。

③ 読者を呼び込むためには、特集と住民登場が重要と考え、より議会を知っていただき、住民が登場する企画に取り組んでいる。

6. 編集及び原稿分担・・・第 90 号の例

- ① 表紙写真・・・事務局（原則は編集委員が各自で撮影、委員会で選定）
- ② 特集「町政を評価」・・・委員長、目次リード文 100 字程度（2～3 ページ）
- ③ 特集「健康長寿」、「女性の活躍推進」、「教育の充実強化」・・・委員・各特集それぞれ 100 字程度（各 2 ページで 4～9 ページ）
- ④ 特集大追跡「あの事業はどうなった」・・・全議員、60 字程度（10～13 ページ）
- ⑤ 討論・・・各討論者、50 字以内（14 ページ）
- ⑥ 監査委員の見解・・・監査委員の講評抜粋（14 ページ）
- ⑦ 平成 31 年度予算へ徹底議論、全会一致で提言・・・提言者（15 ページ）
- ⑧ 一般質問・・・質問者、540 字程度、写真は議員が撮影（2 人で 1 ページ）
- ⑨ 議決結果一覧・・・事務局（21 ページ）
- ⑩ 裏表紙・・・5 段階で議会を評価 22 人の町民が採点 委員が聴取 30 字程度

7. 所 見

寄居町議会の広報は、統一テーマを定め、表紙、特集、議員の考え、町民の声など、いずれもテーマに合わせて編集されていました。

最優秀賞となった第84号は、『聴く⇒動く』と題し、「子育て支援」について、29の親子、町民、団体からの意見を掲載し、最新号の第90号では、『評価』と題して「議員が自分たちの声を聴く」というインタビューでしたが、それぞれ22人の町民が5段階で評価し、意見を述べていました。

なお、町民からの意見は、写真、名前、コメントの掲載を承諾した人だけを登用しているとのことでした。

また、議員の参加としては、第84号で、「私が注目したのはこの予算」と題して、新年度予算に対する審議の中から全議員の意見1点ずつを取り上げて掲載、第90号では、大追跡「あの事業はどうなった」と題して、前年度予算から各議員が追跡・評価した事業について、全議員の意見1点ずつが掲載されていました。

写真の使用基準としては、1ページ（1記事）に1枚以上掲載としているが、写真の規格は小さいものの、枚数はそれ以上に使用されていました。

結論として、①議会と行政に関心を持たせるための町民参加紙面、②町民に議員それぞれの考えと行動を知らせようとする意識、③読ませる広報から見せる広報で、町民を誘引する編集など、委員それぞれの熱意と本気さを感じました。